

第9回

北区リレーションシップ協議会会議録

令和2年2月19日

第9回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 令和2年2月19日(水)

開会 午後7時00分 ～ 閉会 午後8時45分

出席委員(17人)

- 座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平
副座長 北区町会自治会連合会 薄井 哲夫
委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市
委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子
委員 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター運営部 河村 弘之
委員 東京都北区体育協会 根本 貞義
委員 特定非営利活動法人 れっど★しゃっふる 吉村 実花子
委員 北区総合型地域スポーツクラブ コミスポたきのがわ 大竹 秀樹
委員 北区スポーツ推進委員協議会 二村 正徳
委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄
委員 東京商工会議所北支部 越野 充博
委員 北区文化振興財団 石山 泰史
委員 北区立中学校体育会 綿貫 正人
委員 北区小学校PTA連合会 森 健太郎
委員 北区青少年委員会 清水 恒明
委員 北区政策経営部長 中嶋 稔
委員 北区地域振興部長 関根 和孝

欠席委員(7人)

- 委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久
委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎
委員 北区立小学校体育会 清水 勝一
委員 北区立中学校PTA連合会 川染 誉
委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 將雄
委員 北区教育委員会事務局教育振興部 小野村 弘幸

次 第

1 開会

2 座長あいさつ

3 報告事項

- (1) 東京 2020 大会聖火リレーの実施・ボランティア依頼について (資料 1)
- (2) 東京 2020 大会 100 日前記念イベント【北区主催】の実施について (資料 2)
- (3) 東京 2020 大会コミュニティライブサイトについて
- (4) (仮称) 北区ハンガリー応援団の結成について (資料 3)
- (5) その他の取り組みについて (ハンガリーフェンシング連盟 4 月事前キャンプ等)
(資料 4)

4 情報提供

- (1) パブリックビューイング・ガイドライン、申請書等について (資料 5)
<https://tokyo2020.org/jp/get-involved/livesite/public-viewing/>
- (2) 開閉会式 (選手団サポート) アシスタントキャストの募集について
<https://tokyo2020.org/jp/games/ceremony/assistantcast/>
- (3) スムーズビズチラシ (一般向/企業・従業員向) (資料 6～7)
<https://2020tdm.tokyo/>

5 各団体・機関からの報告

6 今後のスケジュール

7 閉会

午後7時00分開会

第9回北区リレーションシップ協議会

令和2年2月19日

【齊藤座長】 それでは、来ていない方もいらっしゃると思いますが、定刻ですので、始めたいと思います。よろしく、どうぞよろしくお願いいたします。

座長をしています、東洋大の齊藤でございます。よろしくどうぞよろしくお願いいたします。

では、ただいまから第9回の北区のリレーションシップ協議会を始めたいと思います。

新型コロナ、気になりますね。私、大学へは単身赴任で実は来ていまして、自宅が函館なんです、今日の午後、函館でも患者が出たということですので、もう、これ、全国どこで出てもおかしくないという状況でありまして、札幌のスペシャルオリンピックは中止が、冬の大会ですけれども、今回中止ということになりました。まさか、東京まではないと思いますが、ちょっと気になるなというところかと思います。

今日も、報告事項の中に100日前のイベント等ありますが、こういったことも今後どうなるか分からないような状況かもしれないというところだと思います。いずれにしても、我々は粛々と進めてまいりたいというふうに思いますので、今日も協力のほうよろしくどうぞお願いします。

それでは、中身に入る前に、今日、実は今年度初めて北区のスポーツ大使のお二人がお見えになっていますので、高橋さんと石野さんですが、お二人のほうからちょっと自己紹介という形でご挨拶だけお願いします。マイク回しますので。

【石野委員】 皆さん、こんばんは。北区スポーツ大使の石野です。初めての参加となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【高橋委員】 北区スポーツ大使の高橋勇市です。私は、今も現役で競技のほう続けていまして、マラソンと、あとトライアスロン、両方の強化指定選手、今しております。まだ日本代表、まだ内定も頂いてはいないんですけれども、一応来月日本選手団のウェア採寸

だけはするということで、採寸に選ばれていない方も同じ競技をやっている中でたくさんいらっしゃるんですけれども、採寸のメンバーに入れてもらえたというところで、100パーじゃないんですけれども、出られる可能性が出てきたといったところで、今練習のほうかなり気合を入れて行っているところです。昨日、おととい、沖縄合宿を無事終えて、戻ってきました、この後、半年しっかり練習をして、いいパフォーマンスを発揮できたらと思います。正式に内定が決まるかは、7月の上旬です。まだまだ先ですね。それに向けて頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

ぜひ、高橋さんにはパラに出ただけのようにお祈りしたいと思います。

では、いつもどおり会議の進め方なんですけれども、議事録作成いたしますので、録音のほうさせていただきます。

今回もマイクを回しておりますので、ご発言の際は、マイクを使ってください。

あと、記録を作りますので、撮影のほうもご了解いただきたいと思います。あと、会議は公開になっております。今日は傍聴の方いらっしゃいます。よろしくお願いします。

【事務局】 資料の確認をさせていただきます。オリパラ担当の大熊と申します。よろしくお願いします。

まず最初に、次第がございます。その後に、構成員名簿があります。その後、本日の席次表になっております。その後が報告事項になりまして、まず最初に、東京2020大会聖火リレーの実施についてが資料1になります。両面の3ページになります。続きまして、資料2が、東京2020大会100日前記念イベント【北区主催】の実施についての片面印刷1ページで、その後、チラシが入っております。続きまして、資料3です。北区ハンガリー応援団の結成についての案になります。これも片面印刷になっております。資料4、その他の取り組みについてが、これも片面印刷になっております。資料5が、パブリックビューイングのガイドラインについての抜粋の資料でございます。2枚の4ページとなっております。その後は、東京都でスムーズビズというのをやっております。スムーズビズの関係

の資料を資料6と資料7、用意してございます。あと、東京商工会議所北支部様の報告事項ということで、東京2020オリンピック・パラリンピックハンガリー関連事業取組の状況についてという資料が、両面印刷になっております。それから、ハンガリーへ絵画の世界からの誘いのチラシがございます。あと、私ども北区の主催でハンガリー応援企画ということで、北とぴあの区民プラザで5月17日、古館由佳子さんのジプシーバイオリンコンサートを実施する予定になっております。その関係の北区民オーケストラの定期演奏会のチラシがございます。あと、こちらにある白いケースのほうなんですけど、ハンガリー柔道、フェンシング代表のキャンプを記念して、私どもで作った啓発グッズでございます。7色の付箋があって、ボールペンが入っているものでございます。イベント等で配る予定でおります。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

では、報告事項、順番どおり進めてまいりたいと思いますが、(1)番になりますが、東京2020大会聖火リレーの実施・ボランティア依頼について、これ、資料1を基に説明があります。

【事務局】 事務局、東京オリンピック・パラリンピック担当課長をしております、上里です。本日よろしく願いいたします。

それでは、資料1をお手元にご用意ください。

東京2020大会聖火リレーの実施についてということでございます。まず、前段で、リレーの概要ご説明させていただいた後、ボランティアの依頼ということで、ちょっとご案内、ご相談をさせていただければと思っております。

まず、1、要旨でございますが、昨年末、オリンピックの聖火リレーのルート詳細が発表されたというところ、また、パラリンピックの聖火リレーのルート概要というところで、北区も走りますというところが、公表されたというところでございまして、今後区としましては、組織委員会と東京都聖火リレー実行委員会と協力しまして、円滑な実施に向けて

準備を進めていくというところでございます。

2、概要でございます。（1）オリンピック聖火リレー日程でございますが、ご承知のとおり、国内につきましては、来月の3月26日から福島県でスタートして、7月24日金曜日、オリンピック開会式当日までとなっております。都内につきましては、7月10日から24日。今回の聖火リレーにつきましては、都内62自治体全てを通るというものとなっております。北区を走行するのが、7月19日日曜日でございます。時間が、北区役所出発が15時35分、到着、セレモニー会場ですけれども、赤羽スポーツの森公園競技場に16時28分というふうに公表されているところでございます。ただ、この時間につきましては、今後変更の予定があるというところで、現時点での情報でございます。また、19日でございますが、4つの自治体を走行することになってございまして、豊島区、板橋区、北区、足立区の順番でリレーを実施するというものでございます。

ルートにつきましては、別図ということで、おめくりいただいて、カラーの、こちら北区ニュース1月20日号の1面で掲載したものから抜粋でございますが、北区役所をスタートしまして、北上します。旧岩槻街道をそのまま真っすぐ通りまして、中十条三丁目交差点、環七に突き当たったところで左折、環七を板橋区方面へ向かいまして、姥ヶ橋交差点のところを右折をしてトレセン通りに入るというものでございます。トレセン通りを北上しまして、最終的に赤羽スポーツの森公園競技場、競技場の中、サッカーグラウンド、人工芝でございますが、そちらでミニセブレーション、到着式のイベントを行うという概要となっております。

また、1枚目にお戻りいただきまして、今回の走行距離、ランナー1人当たり、約200メートル走ることとなっております。こちらが、前回の64年大会は、もっと体力のある方々が走ったということですが、今回につきましては約200メートル、そして、原則として単独走行となっております。

3番、セレモニーでございますが、先ほど少しご説明させていただきましたが、赤羽スポーツの森公園競技場内におきましてミニセブレーション、約30分程度の催しでござい

すが、盛り上げに関するステージイベント、それから最終ランナーのインタビューであったり、フォトセッション等を行うというものでございます。こちら、オリンピック聖火リレーの概要でございます。

続きまして、(2)パラリンピック聖火リレーについてでございます。

日程でございますが、国内は8月13日から25日まで、聖火リレーといいましても、内容が大きく分けて3つになってございます。1つが、聖火フェスティバルというものでございまして、こちらが、8月13日から17日、もう一つが、聖火リレーの競技開催都県の聖火リレー、それから、開催都市内の聖火リレーとなっております。

北区におきましては、8月21日金曜日、カテゴリーとしましては、競技開催都県の聖火リレーというところで実施を行わせていただくことになってございます。また、パラリンピックの聖火リレーにつきましては、期間が都内も全5日間というところで、短いというところもございまして、都内全自治体ではなくて、都内23自治体、そのうち特別区につきましては14自治体を走行し、その中に北区も今回選ばれたというものでございます。

時間等につきましては、午後というところまでが、現在把握できているところでございまして、何時頃走るかというのは、今後公表されていく予定でございます。

また、当日、8月21日金曜日の走行順でございますが、新宿区、中野区、豊島区、北区、文京区という順番で聖火が運ばれていくというものでございます。

②ルートでございますが、2ページ目をめくっていただきまして、ルート詳細につきましては、春頃公表予定となっておりますが、現時点では未定となっております。ただ、大会組織委員会のホームページを見ますと、十条台にあります障スポ、東京都障害者総合スポーツセンターが、都内の見どころというふうに載っておりますので、恐らくあの辺を走るのではないかとというふうに推測はされるというところでございます。

また、走行距離につきましては、こちらもオリンピックの聖火リレーと同様で、1人当たり200メートルでございます。異なる点につきましては、単独走行ではなくて3人1組で200メートルを走る、そして、聖火をつないでいくというものでございます。

続きまして、③セレモニーでございますが、オリンピック聖火リレー同様、区でも出発、ゴールの地点等で、ミニセレブレーション同様のものを行っていききたいと思っておりますが、まだ、会場とか実施内容につきまして、そもそもルートがまだ決まっていないというところで、今後検討していくというところで未定でございます。

また、特徴的なところとしまして、オリンピックにつきましては、聖火の火、ギリシャの1カ所で採火をするところでございますが、パラリンピックにつきましては、イギリスのストーク・マンデビルで採火もするんですけれども、それとは別に、日本全国で自由に採火ができるという仕組みになってございます。こちら任意でございますが、都内、また、他府県におきましても、採火式をやるところが多いと。北区でもぜひやりたいというところで、北区の火を何かしらの形で取って、それを北区の火として東京都の火に集める、東京都の火を全国都道府県から集まってきた火と合わせて全国の火とし、パラリンピックの火としてどんどん集約していくと、その一つのスタートとして、採火式というものも行いたいと思っておりますが、まだ、会場などは、未定となっております。

オリンピック・パラリンピック聖火リレーの概要につきましては、以上でございます。

続きまして、3番、実施体制というところでございますが、この中で次第にございます、ボランティアの依頼というところと絡めてご説明、また依頼をさせていただければと思っております。

実施主体でございますが、オリンピックもパラリンピックも、主催は組織委員会でございます。共催が、各都道府県の聖火リレーの実行委員会、東京都につきましては、東京都聖火リレー実行委員会、実質的には、東京都のオリパラ事務局になっているというものでございます。

区の役割としましては、聖火リレーの実施自治体として、東京都の役割の一部を担う、いわゆる東京都への協力をしていくという位置づけとなっているところでございます。したがって、なかなか聖火リレーというところで、自由にいろいろ区もやりたいところではございますが、ガイドライン等でルールも決まっております。また、東京都の役割

の一部を担っているところもございますので、一定程度の制約の中で協力をしていくというふうになってございます。

そういった中で、今回、(3)のところでございますが、区民ボランティアの募集をさせていただきたいなというところでございます。こちら、区民ボランティアでございますが、北区に限らず、各区市町村、リレーの走路とか距離に応じまして、東京都のほうから試算ということで、このぐらいの人数が必要だと示されてございます。当然、組織委員会、また東京都、そして我々北区職員も含めて、あと、外部委託もしますので、そういった事業者さんからの、制服警備員さん等、いろんな方が協力するんですけども、それでもやはり人が足りないというところで、今回、区民ボランティアというところで、北区の中では570名、必要となっているという状況でございます。一応、こちら2002年4月1日以前に生まれた方ということですので、18歳以上の方がボランティアの対象になってくるというものでございます。

主な業務の内容でございますが、リレー沿道の走路管理、イメージとしてはマラソン大会等で沿道、歩道から出ないように観衆を案内するというものを想像していただければなと思ってございます。2つ目のリレー沿道周辺の観衆・雑踏の整理でございますが、いわゆるリレーの走行路そのものではなくて、そこにつながる枝道等で、この先リレーをやっていて通れませんよとか、そういったところで観衆、また雑踏の整理をいただくというもの。3つ目がコース・沿道の資機材の設置、撤去のサポートでございます。こちらにつきましては、あくまでサポートでございまして、東京都、区、各事業者等で準備をしていくんですけども、それのお手伝いをいただくと。セレモニー会場、北区におきましては、赤羽スポーツの森公園競技場でございます。また、聖火リレーのランナー集合場所というところが、各所で設けられる予定でございまして、そこにおける運営補助や案内も行っていただくというところでございます。

また、そのほか、各活動場所における補助的な業務、リレー終了後の片づけ、それから、ごみがないとは限りませんので、ごみ拾いというところもお願いしていきたいなというも

のでございます。

なお、こちらの業務内容につきましては、都内一律同等の条件、内容をお願いしているというものでございます。ただ、米印のところで、活動時間でございますが、リレー実施日の、2時間から4時間程度のご協力を頂くこととなります。2時間から4時間程度というのは、従事いただく場所によって、リレー開始の何時間前から準備等でお手伝いいただくとか、その辺は差異は出ているところで、大体2時間から4時間程度という現時点ではご案内となっております。

また、不審者、不審物、それから危険行為、不特定多数の方が集まるということで、そういったことも想定されますが、こういった行為への対応につきましては、別途専門の警備員が対応するとなっておりますので、そういったところではなくて、あくまでも沿道の観衆等の整理を中心となっております。

今回ご案内させていただくんですけれども、業務内容、今ご説明させていただきましたが、基本的にはその沿道、ランナーが走るところを中心とはなってございますが、場合によってはそうでないところ、簡単に言うと、聖火が見えないところに従事いただくという可能性もございますので、そこも含めてご承知いただいた上で、募集をさせていただきたいなというところでございます。

続きまして、③報酬等でございますが、大変申し訳ないんですけれども、無償、交通費、昼食の支給はなしと。ただ、活動に必要な被服、観客皆様から視認、ボランティアと、スタッフと視認できるようなもの、ビブス、またはTシャツ、暑い中ですので帽子など、予算の範囲内でどういったものが作れるかというのは、今後検討させていただきますが、そういったものは、貸与ではなくて支給という形を取っていきたいなと。また、暑いということですので、飲料も支給という形で、お願いしていきたいなと思っているところでございます。

続きまして、4番、募集方法等でございますが、まず、公募というところで、北区ニュースの3月10日号に、ボランティアの募集をしますと掲載予定でございます。また、既に

ご活躍を頂いております北区スポーツボランティアの方々へも、併せてお願いをしていくというものでございます。

そして、ここからが重要でございまして、丸ぼちの3つ目、区内関係団体へも個別にご協力の依頼をしているというところございまして、沿道の町会自治会、今回でいきますと、十条台地区、十条地区、赤羽西地区、それぞれの連合町会長会議におきまして、お願いをして回っているというところで、ご協力いただきたいと。

また、リレーションシップ協議会、今回、これから皆様方に具体的にお願いしていくんですけれども、先行して北区体育協会様には、理事会のほうにお邪魔させていただきまして、体育協会様として、全体で200名のお手伝いをお願いして、ご快諾頂いているところございまして、準備を現在進めているというところございまして。沿道の町会自治会様につきましても、現時点では、各町会自治会様は5名で、目標値5名でお願いしたいというところで、ご了解いただいているというところございまして。

続きまして、後ほど、この後、資料ご説明させていただいた後に、各団体様でどれぐらいお願いできるかというご相談させていただきますので、先に4番、今後の予定だけ説明させていただきます。

2月、今月でございしますが、区民ボランティアの募集。春頃には、パラリンピックの聖火リレーのルート詳細が公表される予定でございまして。5月以降に、パラリンピックの聖火ランナーが順次決定していくということ。そして、7月19日に北区内でオリンピックの聖火リレー、7月24日から8月9日までが、第32回オリンピック競技大会、そして、8月21日がパラリンピック聖火リレーの実施、北区内での実施でございまして。そして、25日から9月6日までが、東京2020パラリンピック競技大会の開催となっております。

資料の説明については、以上でございしますが、ボランティアの依頼ということで、ちょっとご相談ということになるんですが、まず、リレーションシップ協議会の皆様方に、ボランティアにご協力いただきたいところではございまして、各団体様の性質というところ、例えば学校の先生だったりというところ、ご協力がなかなか難しいところにつきましても、

区のほうで検討させていただいて、少し除外させていただいているところでございます。

これから、団体名と、これぐらいの人数でいかがでしょうかというのを少し、口頭で申し訳ないですけども、勝手に我々のほうで割り振らせていただいたので、すぐにとはいかないと思いますが、あくまで目標値としていかがかなというところで、ご意見頂ければと思います。

まず、体育協会さんにつきましては、もう事前に、既に200名を目標値ということでご了承いただいているところでございます。

続きまして、れっど★しゃっふるさん、今回来ていないんですけども、れっど★しゃっふるさんの中で5名、それから、コムスポたきのがわさん、スポーツ推進協議会様とほぼぼぼメンバーがかぶるということですので、コムスポたきのがわ、北区スポーツ推進協議会の中で5名。それから、北区商店街連合会様でも5名。それから、商工会議所北支部様も5名。そして、北区小学校PTA連合会におきまして、各学校で2名ずつでいかがかなと。

【森委員】 そうすると、小学校で35もあるんですけども……。

【事務局】 その中で、各学校2名でお願いしたいのが、沿道5校を除く30校。沿道5校は、リレーの沿道ですので、お子様とか地域の方も多くいらっしゃるかと思うので、少し多めにご協力を頂きたいなど。また、町会自治会につきましても、沿道のところにつきまして、特段のご配慮ということでご協力依頼させていただいておりますので、沿道の5校ですが、西が丘小は沿道ではなかったのを省かせていただいて、王子第二小学校、十条台小学校、荒川小学校、王子第三小学校、梅木小学校と、小学校は以上5校、こちらを5名ずつでお願いしたいと。それ以外の30校を2名でお願いできないかなというところでございます。

【事務局】 また、今回簡単に口頭でのご案内ということですけども、正式な依頼文書というのは、また別途ご案内させていただきまして、そこの中に詳細な内容であったり、申込みに必要な申込み書式ですね、それから、今回ご相談させていただいている割当て、目

標人数も明記させていただければと思っております。

今回中P連さん、中学校PTA联合会さんいらっしゃって……。

【森委員】 聞いておきます。

【事務局】 中学校様につきましても、同様な考えでございまして、沿道の稲付中学校のみ5名、それ以外の中学校につきましてもは2名で、何とか目標値でお願いできればなというところでございます。

それから、北自連につきましても、既に町会自治会連合会の中の沿道3地区につきましても、個別にご案内させていただいておりますので、北区ニュース3月10日号、その内容を見て、できれば各会の方々に周知いただいて、ご協力いただきたいというご案内にとどめさせていただければと思っております。3月11日の北自連でも、可能であればご案内にはお伺いできればと考えているところでございます。

また、最後でございますが、北区青少年委員会様も5名ということで、何とか、あくまで目標値でございます。任意のご協力でございますので、どうしてもというわけではございませんが、オール北区、北区全体で盛り上げていきたいというところもございまして、何とぞご協力いただければなというところでございます。

まず、今回資料、説明内容等、あとはそれぞれの団体様への割当てというところで、何かご意見等があれば頂ければと思っております。もしくは、もっとうちは出せますよとか、そういったご意見があったりするとうれしいんでございますが、よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 では、早速。

【森委員】 意見ではなくて質問なんですけど、この2日間ということによろしいんですか。このオリンピックとパラリンピックの。

【事務局】 そちらでございますが、まずはオリンピックの7月19日の協力依頼をさせていただきます。

【事務局】 その中で、最後のほうに、8月21日金曜日もいかがでしょうかという意向調査みたいなチェックボックスを設けようかなとは思っておりますので、できれば、21日つきまし

ては、ルートも何もまだ決まっていないというところもございますので、あくまでもご意向があるかどうかというところの確認にとどめさせていただきたいと思っております。

【森委員】 そうすると、場合によっては、また8月のほうのことは、また今みたいな形で割り振られてという、別個に考えてということもあり得るという。

【事務局】 はい、そのとおりでございます。あらかじめ意向調査、確認させていただくことによって、どれぐらい集められるかという想定ができて、こちらの準備の都合もございますので、あらかじめお聞きすると。また、別途詳細につきましては、パラリンピック聖火リレーボランティアにつきましてご案内させていただくという段取りでございます。

【森委員】 ありがとうございます。

【齊藤座長】 ほかがございますか。

一番大変なのは、このボランティアのところなんでしょうね。私のいる学部も、今、朝霞にあります。朝霞は射撃の会場で、聖火も通るものですから、急遽50人学生を出せということで、お騒がせしてますけれども。皆さん、協力して、ボランティアのほうよろしくをお願いします。

では、次、(2)のほうにまいります。東京2020大会100日前記念イベント【北区主催】の実施について、こちらのほうも、説明願います。

【事務局】 では、事務局です。

その前に、聖火リレー、今資料1のところでございますが、ボランティアの依頼をさせていただきました。また、それとは別に、7月19日、日曜日ということで、各団体様、例年このあたりに何かイベント等をやっているならば、ぜひご配慮いただいて、聖火リレー応援、ないしはボランティアでというところで、日程の確保等でご配慮いただければなと思っております。

また、セレモニーということで、赤羽スポーツの森公園競技場でミニセブレーション、到着式をやる予定でございますが、当然沿道、約4キロに及ぶ中で、沿道での盛り上げと

いうところも必要になってくるかなと思ってございます。こういった内容で盛り上げていくかというところにつきましては、まだ、詳細なルール等が示されていない段階ではございますが、今後、場合によっては地域の皆様方、また、各団体様の皆様方にちょっとご相談させていただくこともあると思いますので、よろしく願いいたします。

すみません、資料1の補足でございました。

では、続きまして、資料2、お手元にご用意ください。

東京2020大会100日前記念イベント【北区主催】の実施についてでございます。まず、イベントというところで、冒頭座長のほうからご案内いただいたとおり、新型コロナウイルスというところで、いろいろなイベントが中止になっている部分がございますが、北区のオリパラ関連のイベント、北区主催の部分につきましては、現時点で中止等の予定はありません。ただ、現時点ということですので、今後の状況を注視しながら、適宜適切なご案内をしていきたいなと思ってございます。

また、実施に当たりましては、来場していただく方に、受付のところで消毒液等を設置し、また、石けん等での手洗い、それから咳エチケット、一般的に言われている各個人で行っていただきたい予防策につきまして、会場内にも周知徹底をしていきたいなということで、しっかりとご案内して、事業を粛々と実施していきたいなと、これは現時点での対応状況でございます。

資料にちょっとお戻りいただきまして、100日前記念イベントでございますが、オリパラ大会、100日前を記念した北区主催のカウントダウンイベントを実施するというものでございます。

日程でございますが、令和2年3月28日土曜日、土曜日につきましては、午後1時から午後4時、29日日曜日は、午前10時から午後4時でございます。会場が、赤羽スポーツの森公園競技場。

(3)はイベント内容でございますが、大きく分けて3つでございます。1つが、アスリートによるスポーツ教室の開催。親子ラグビー教室、親子かけっこ教室、サッカー教室

ということで、日時はそれぞれお示しのとおりでございますが、ラグビーにつきましては、元日本代表の斉藤祐也さん、親子かけっこ教室につきましては末續慎吾選手、サッカー教室が元日本代表の坪井慶介さんをお願いをしているところでございます。

②でございますが、それとは別に、各種競技体験を実施予定でございまして、主なものとしてBMX、フリースタイルの自転車の競技ですね、こちらと、ボルダリング、車椅子バスケットボール、視覚障がい者5人制サッカー、ボッチャ、アーチェリー、キックスピード、バッティング的あてなどを現在検討させていただいているというものでございます。日によって体験できる内容は異なってくるところでございますが、詳細につきましては、こちらの机上に配付させていただいておりますチラシ、こちらをご覧くださいければと思っております。特に、裏面に競技体験ブースというところで、28日と29日の実施する内容を記載しているところでございます。

それから、今回の企画の目玉といえば目玉なんですけれども、③番というところで、東京2020オリンピック観戦機会の提供という企画も用意してございます。こちらは、イベントに参加して、優秀な成績を収めた区内在住・在学の小中学生の中から、抽選で東京2020オリンピック観戦チケット、保護者とのペアチケットですね、こちらを提供させていただくというものでございます。なお、提供させていただくに当たりまして、観戦後、感想文等を提出いただきまして、いわゆる今回親子チケットにしているところも、お子様方の夢や希望を親も後押ししていただきたいというところ、そういったところにもつなげていきたいということもございますので、感想文等ご記入いただくようなことも考えてございます。

また、今回の対象イベントにつきまして、スポーツライミング、BMX（フリースタイル）、3×3バスケットボール、この3種目がチケットの対象というところで、ご留意をさせていただくものでございます。

協力につきましては、（4）のところでございますが、アシックスジャパン（株）、東京ガス（株）北部支店、こちらにつきましては、各種景品であったり、ボッチャ等々のパ

ラ競技のご提供を頂いているという形で、ご協力を頂いているものでございます。

その他としまして、3月29日、昨年度も同様でございましたが、北区の桜ウオークと同時開催させていただきまして、ゴールを赤羽スポーツの森公園競技場に設定をしているというもので、同時開催で、コラボした形で盛り上げていきたいと考えているところがございます。

なお、今後の予定につきましては、お手元に配付のチラシ、また、来週以降になりますけれども、しっかりとした用紙で各学校も含めまして、広く配布していくと。また、3月1日の北区ニュースにおきまして、先ほどご案内させていただきました3つのスポーツ教室、こちらは事前申込み制となりますので、申込み方法を掲載していきたいなと思っております。

資料2につきまして、説明は以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

質問ございますでしょうか。

これは、あれですね、抽選ではなくて、成績優秀者なんですね。

【事務局】 具体的に今検討しているのは、スポーツ教室であったり、競技体験をしっかりと体験していただいたり、参加いただいた方、お子様を対象に抽選をするというものでございます。

【齊藤座長】 何か、はなから運動の苦手な子は当たらないなという。

【事務局】 優秀というのも、一生懸命頑張ったことに対するご褒美というような形ですので、特段成績を競って、的あてを幾つあてられたと、そこまでではなくて、あくまでも体験していただいて、頑張っていたお子様に抽選の機会を提供すると。

【齊藤座長】 そっちのほうの表現のほうがいいんじゃないですか。成績優秀者というのは、僕も何か。

【事務局】 こちらなんですけれども、チラシのほうには、一応成績優秀者と書いていますけれども、実は事務的な、役所的な都合もございまして、このチケットにつきまし

て、組織委員会等からプレゼントを頂いているわけではなくて、いわゆる予算を組みまして、定価で区が購入しているものでございます。したがって、今回はちょっと分かりにくいんですが、こういった表現をさせていただきました。ただ、現地、現場ではしっかりと優秀というところの意味合い、頑張ってくれた子だよというところは、しっかりとご案内していきたいなと思ってございますので、ご理解いただければと思います。

【齊藤座長】 チラシを見ただけの区民の方から、何かそういうクレーム来なければいいですけども。成績優秀という言葉は、あまりこういう場合は的確な言葉じゃないから、と思います。

よろしいですか。

では、次にまいります。

(3) になりますが、東京2020大会コミュニティライブサイトについて、こちらのほうも、説明願います。

【事務局】 東京2020大会コミュニティライブサイトについてということでございます。こちらにつきましては、資料ではなくて、口頭で簡単にご案内をさせていただきます。

コミュニティライブサイトにつきましては、当協議会通じまして、皆様方からいろいろなご意見を頂きまして、現在、運営をしていただく事業者の選定に入っているというところでございます。コミュニティライブサイトにつきましては、前回のリレーションシップ協議会でお話いただいたとおり、商工会議所さんであったり、商連さん、また、ステージイベントにつきましては各種スポーツ団体さん、今後調整させていただいて、ご協力いただくなかで、現在選定している事業者が現場について全体的なマネジメントをしていくと。全体の統括、また管理につきましては、北区が責任を持って行いますが、事業者も入ってくるというところで、ご協力いただく団体の皆様方には、事業者も含めた形で、今後協議させていただければなというところでございます。

したがって、まだ事業者、決まっていないというところもございますので、決まり次第、ご案内させていただきながら、また、イベント内容につきましても、ご相談させて

いただければと思っておりますので、現時点での進捗の報告でございます。

以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

質問、ございますでしょうか。

よろしいですか。

では、次、（４）ですね、（仮称）という形で北区ハンガリー応援団の結成についてということで、こちらのほうは、資料３になります。

【事務局】 資料３でございます。

まだ案の段階ではございますが、北区ハンガリー応援団の結成についてということでございます。

前回の協議会におきまして、口頭でハンガリーを応援する応援団というのを考えていますよというところでご案内させていただいたところで、それを少し書面でまとめさせていただいたものでございます。

こちらは、あくまでも考えるベースとなる資料でございますので、これがこのまま区民の皆様に配布、ご案内する資料というわけではございませんので、その点ご承知いただければと思います。

まず、１、目的でございますが、東京2020大会の事前キャンプを実施しますハンガリー柔道、フェンシング代表チームのさらなる応援気運醸成を目的として、応援団を結成するというものでございます。

対象につきましては、主に区内在住、在勤、在学で18歳以上の方と提示をさせていただいております。主にというところですので、あまり厳密に堅苦しくやるというのはどうかというところがあるので、主にと書いていると。また、区とハンガリーの交流や、ハンガリー柔道、フェンシングチーム、当然でございますが、そういったハンガリーの選手団に興味のある方ということになってございます。また、18歳以上ということでございますが、当然お子様はどうなのかという話でございますが、お子様につきましては、後ほど

ちょっとご案内させていただくんですけれども、申込みのところにメールアドレスとか個人情報やを一定程度頂くことになってしまいますので、保護者の同意というものを前提と考えてございます。したがって、申込みの際は、子供は保護者と一緒に申し込む家族会員みたいなイメージを取っていますので、一応定義としては18歳以上の方、お子様も一緒に家族会員という形でご登録くださいというご案内を、実際ご案内、具体にしていく中では、その辺分かりやすくご案内をしていきたいなと思っているところでございますので、表記については、対外的にご案内、周知いただく際には、工夫をさせていただくところでございます。

定員につきましては、設けてございませんので、とにかく多くの方に登録いただいて、応援するというところで、ご協力いただければなと考えているところでございます。

4番、活動内容でございますが、こちら、現在の案というところでございますが、それぞれ柔道、フェンシングチームの応援、例としましては、区が主催するハンガリー関連イベントに積極的に参加、また、それをSNS、インスタグラムも含めまして、どんどん拡散していただくという、もう本当に草の根のような活動で応援していただきたいところでございます。

そうはいつでも、何か特典をとということも、きっかけ作りとして考えているところでございまして、団員限定のメールマガジン、区が主催する関連イベントをどの媒体、どの方々よりもいち早くアナウンスをするというところ。また、ハンガリー選手団の国際大会、今後、高橋勇市選手も先ほどお話ししていたとおり、選手選考段階にどんどん入っていく中で、いろいろな選手が代表に内定してくるかと思っておりますので、そういった方々を個々にご案内するような速報のようなものを配信していきたいなと。また、他団体でも、イベントもろもろで周知をしていきたいなというところでございます。

そして、大きな丸の2つ目でございますが、ハンガリー競技団体の限定グッズを区主催のイベントなどで、団員に限定配付。数量等何を配付かというところにつきましては、まだまだ、ハンガリー側と今後調整はさせていただく中ではございますので、イメージとし

てはこういったものを団員特典として考えていきたいなというところがございます。

6、申込み方法でございますが、氏名と生年月日、メールアドレスを記入の上、メールや郵便、ファックスで申し込んでいただくと。特段、その申込み用紙というような様式は設けていなくて、現時点では考えてはいないところではございますが、必要最低限の情報を頂ければなと考えているところがございます。

また、今回、前回のとき会員証を発行するとかいろいろちょっと考えさせていただいて、言っただけのところではございますが、事務負担の軽減とか、そういったところもあったので、現時点では会員証の発行はするという予定はございません。ただ、一方でメールマガジン等を配信しますので、その画面をスマホ等で会場で見せてくれれば、団員のあかしという形ですので、限定グッズの配付であったり、何か特典の配付の対象とさせていただくという形を取ればなというふうに思っております。

また、今回案というところでお示しさせていただいて、この後ご意見頂ければと思っておりますが、できれば3月28、29日の100日前イベントにおいてお披露目というか、ご案内、ご紹介、募集をスタートできればなというところも考えて、準備をしていきたいなというところがございます。すごく粗々な案でございますが、このような方向性でやっていきたいと思っておりますので、また、何かご意見があれば、頂ければと思います。よろしく願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

いかがですか。

はい、お願いいたします。

【大竹委員】 コミスポの大竹です。

今のこの特典の中なんですけれども、できれば会場で応援したいというのは、みんな誰も思うんでしょうけれども、チケットの兼ね合いなんかもあって、なかなか手に入らないし、高額だというのはあるんでしょうが、例えばこういう統一のやっている最中のパブリックビューイングとか、あるいはDVDで後でみんなが集まって見るとか、何かそういう

のもあったほうが、何か応援している、何かメールが来るとか、そういうものだけではなくて、一緒になってみんなで声援を出したいなというのも、あってもいいのかなと思うんですけれども。

【事務局】 ご意見、ありがとうございます。

まさにおっしゃるとおりでございます。今回ちょっとご案内はさせていただいていないですけれども、例えばコミュニティライブサイトでハンガリーの選手が、メダル取りましたということで報告に来ていただくときには、皆さん集まっていたとか、それは、基本的には北とぴあの1階のロビーでやるんですけれども、場合によっては、例えば別室で団員だけ少し特別感を出すようなイベント、また、国際大会というところで、オリンピック・パラリンピックの前にも、全世界でハンガリーの選手が戦ってございますので、例えば、可能かどうか分かりませんが、今ご指摘頂いたとおり、試合の中継を録画にしようかと思っておりますけれども、それをみんなで見て、応援、気運を高めるとか、ご意見頂いた内容を踏まえて、何かしら、集まって応援するというパワーは、やはり強いかなと思っておりますので、ちょっと検討させていただければと思います。ありがとうございます。

【越野委員】 いろいろなアイデアが出て、楽しみな応援団の結成だと思いますが、僕も入らせていただきたいと思うんですけれども、ぜひハンガリー国歌をそろそろ練習し始めたほうがいいんじゃないかなと思ひまして、ハンガリー語って、難しいんですよね、あれ。1回片仮名にしてももらわないと、多分絶対覚えられないし、ちょっと長めだったりもするんで。ぜひハンガリー国歌はみんなで、ハンガリー国歌を習う会みたいなところで、何回かやってもいいかもしれないというのをぜひ。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

事務局。

【事務局】 今、ご意見頂いたとおり、現時点では、もうやる内容というのは粗々のもので、皆様方今頂いたご意見、参考にさせていただくのと、場合によっては、団員の方々からこういうのをやりたいとか、自主的な企画、ご意見頂いて、可能な範囲でも新しくでき

ればなとも考えてございますので、いずれにしても、主体的に応援するというところをメインで、区民の皆様方と一緒に応援できればなとも考えてございます。

【齊藤座長】 ラグビーでも国歌は、やっぱり先方の国、大分印象よかったみたいですからね。

ほか、ございますか。

特になければ、次の5番にあって、次は(5)ですね、その他の取組についてということで、こちらのほうも、事務局のほう、よろしくどうぞ。

【事務局】 資料4でございます。その他の取組についてということで、4点ご報告をさせていただきます。

1つ目、(1)でございますが、ハンガリーフェンシング連盟による事前キャンプについてでございます。こちらの事前キャンプでございますが、目的のところ、グランプリ・ソウル大会というものがフェンシングの大会、国際大会でございますが、4月24日から26日の日程で、ソウルで行われます。その直前トレーニングというものを赤羽体育館で行う予定というものでございます。したがって、大会の直前になりますが、日程ですね、4月17日金曜日から22日水曜日で赤羽体育館をメインに行っていくというものでございます。

内容につきましては、大会前でございますので、トレーニング、また練習見学であったり、区民との交流会、交流会といたしましても、本当に大会直前で大事な時期でもございますので、どの程度できるかというところは、今後ハンガリーフェンシング連盟と調整はさせていただきますいなと思ってございます。

なお、参加選手でございますが、今回の大会、フェンシング、3つ種目がございますが、そのうちサーブルという種目でございます。その男女4名ずつの計8名の選手。また、スタッフ等入れましたら、想定で15名のハンガリー関係者の方が来日していただく予定となっております。そして、一応まだ確定はしないんですけども、その中に、リオと、ロンドンの金メダリスト、2連覇中で、今回3連覇を目指すというハンガリーでいうと、

国民的英雄の方も来日の予定と聞いてございますので、そういった方々をしっかりと、北区で盛り上げて、PRして、また、本番の2020大会への応援につなげていければなというものでございます。

詳細につきましては、今後検討をさせていただきますので、ある程度の、一定程度の概要等が固まりましたら、個別にはなってしまいますけれども、何かしらの形でご案内させていただければなと思っております。

続きまして、(2)でございますが、東京2020大会シティドレッシングでございます。

シティドレッシング、イメージとしては、ラグビーワールドカップのときに、商店街の街路灯にフラッグがあったかと思いますが、ああいうものであったり、ガードパイプ、ガードレールですね、そこへの装飾を施すというものでございます。

今回、北区が行う予定のものは、西が丘にありますハイパフォーマンススポーツセンター、NTCですね、この周辺の歩道、区道の歩道に、東京2020大会統一デザインによる装飾を行うというものでございます。ガードパイプであったり、フラッグは現在ちょっと破損等で一部、一時撤去してございますが。商店街で順次掲揚してある統一デザインの5色のフラッグをトレセン通りにも、掲揚していきたいなというものでございます。

今後でございますが、こちら、国際オリンピック委員会、IOCの承認が必要ということで、現在申請中でございますので、こちらの承認が下りて、また、道路管理者等との協議がしっかり整った以降ということですので、6月以降、順次実施していきたいなというところでございます。

なお、色々な商店街の街路灯というところで、シティドレッシング、つき始めるのかなと思いますが、デザインとしては、同様のものになっていきます。ガードパイプだけ北区ということでピンクで、街路灯につきましては、商店街と同じ形で5色で、こちらは全国統一でやっていきますので、区もそれに応じまして、地域というよりは、全国で統一的なデザインで、オリパラ色を出していくというところでございます。

続きまして、(3) 応援メッセージ企画ということでございますが、JSC、日本スポ

ーツ振興センター様との連携企画でございます。NTC等を管理されている、本日河村委員がいらっしゃってございますが、日本スポーツ振興センターのご協力、また、JOC、日本オリンピック委員会のご協力を頂きまして、アスリートの応援、そして、大会気運の醸成というところで、地元の小学校の児童、また、中学校の生徒に、NTCをより一層身近に感じてもらうという目的もございまして、選手や各競技団体に向けた応援メッセージとして、A3のサイズの寄せ書きを作成していただきまして、トレセンの施設内に掲示をしていただいているというものでございます。なお、もろもろの事情がございまして、写真などはなかなか提供できないので、活字のみのご報告とさせていただきますが、こういった形で、いろいろとご協力いただいております。また、近隣の、地元の小中学生につきましては、より一層身近に選手を応援できるという気運を高めていけるというものでございます。

続きまして、(4)「ROUTE2020トレセン通り」の看板及びポール型照明の設置というものでございます。こちら、トレセン通りの姥ヶ橋から赤羽商業前、西が丘のサッカー場の前までのところにおきまして、競技を紹介する看板、そして、看板の左右両端にポール型の照明を設置させていただきました。トータル20枚看板を設置させていただいております。オリンピック・パラリンピックを並記した形で、それぞれ、特にトレセンを中心に練習をしている競技を掲載して、スポーツ感、オリンピック・パラリンピック感をより一層演出するというものでございます。

こちら、既に工事が完了してございますので、もしお時間等がありましたら、歩いていただければと思っております。

なお、こちらソーラータイプのライトがついてございますので、それぞれポール型の照明のところと、あと看板の上部にもソーラータイプのLEDライトを設置しているというところで、一定程度の照度がございますので、ここ、結構ランニングする方もいらっしゃるかと思っておりますので、そういったところでは、少し明るくなって、より一層華やかになってくるのかなと思っております。

報告につきましては、以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

いかがでしょうか。

はい。

【尾花委員】 本番というか、全てのオリンピック競技の看板をつくるんですか。

【事務局】 枚数に限りがあるというところ。また、北区はやはりNTCがあるというところで、ナショナルトレーニングセンターで練習をしている競技を中心にと。ですので、全ての競技を紹介するわけではないというところがございますので、NTCで主に練習している競技に特化して、なかなか一般の方には分かりにくいんですけども、北区らしさを少し出しているというところがございます。

【尾花委員】 おおよそどのくらいですか。

【事務局】 20枚のうち、17枚に競技の紹介をしてございます。1枚1枚、左にオリンピック競技、右にパラリンピック競技を掲載しているというところ。残りの3枚につきましては、トレセン通りの説明であったり、北区のこれまでのオリパラに向けた取組、それから、北区の文化などを紹介した看板を3枚ご用意して、計20枚となっておりますので、ぜひご覧いただければと思っています。

【越野委員】 それも写真で広報できないんですか。

【事務局】 今回、すみません、資料がちょっと間に合わなくて、資料でつけてはいないところなんですけれども、参考でというところで、もしよければ。手元に写真がありますので後ほどご覧ください。

【越野委員】 後で見ます。

【事務局】 後で、帰り際に。

【越野委員】 これから区民の皆さんには知らせていくと。

【事務局】 ホームページにもしっかり掲載して、ちょっと、今回は間に合わなくて、資料としては配付していない。もし興味があれば、帰り際にもご覧いただければ、ご説明さ

させていただきます。なお、歩道側で、歩道を歩いている方は競技の紹介が見えます。車道側からは、トップアスリーのまち北区というのと、ROUTE2020トレセン通りという表記になってございますので、車道のほうからは、ここはトレセン通りなんだなというのが分かるようなPRも兼ねてございます。

以上でございます。

【森委員】 ちょっと僕、すみません、意見なんですけれども、確かにNTCも北区の重要な施設だと思うんですが、それだけじゃなくて、東京都障害者総合スポーツセンターがあるというのも、何か北区ならではなんじゃないかなと思っているんですが、あの周辺は、トレセン通りじゃないですが、そこに逆にパラリンピックの競技主体の本格的なアスリートの方が練習にも行くと思うので、その障害者スポーツセンターの付近にも、そのような看板があればいいのかなというふうに思いました。それに、あそこら辺は、あまり明るくなくて暗いし、そういう明るい看板があれば、何か素敵だななんて思いました。

【事務局】 今、ご指摘、ご意見頂いたとおりでございます。北区におきましては、東京都の施設でございますが、東京都障害者総合スポーツセンターでございます。こちらにつきましても、区としては、都の施設でございますが、PR、連携しながらしていきたいと考えているところでございます。

一方で、なかなかできるところが限られてくるというところ、また、街路灯とかそういった制約もございます。現時点では、なかなか装飾などができないと。ただ、聖火リレーにつきまして、まだルートは決まっていらないんですけれども、ホームページ上は、組織委員会が見どころとして障スポを上げていますので、ルートが決まった折には、また、聖火リレーのシティドレッシングというデザインがまた別にございまして、パラリンピックの聖火リレーに向けて、装飾含めて何かしらの形でPRしていければなと思ってございます。

以上でございます。

【齊藤座長】 よろしいですか。

そのほかございますか。

特にないということであれば、次の4番の情報提供に移ってまいりたいと思いますが、そちらのほうは、1、2、3と一括して連続してご説明いただけますでしょうか。

【事務局】 それでは、情報提供でございます。

(1) パブリックビューイング・ガイドライン、申請書等についてということで、資料5、A4横のカラー刷りのものがございますが、こちらをもってご案内させていただきます。

パブリックビューイングのガイドラインについてということでございます。パブリックビューイングでございますので、北区で予定しています、映像による競技中継と催し物を組み合わせたコミュニティライブサイトではなくて、純粋に競技だけを中継し、みんなで見ますというのが、今回ご案内させていただくパブリックビューイングでございます。

資料5をおめくりいただきまして、ガイドラインということでございますが、今回組織委員会から、先月1月28日にホームページでガイドラインが公開されたというところがございます。したがって、次第のところの詳細なガイドラインというところが80、結構枚数が多いというところで、区の資料としては、今回ご用意していないんですけれども、後ほどURL記載してございますので、そちらでご確認いただければと思っておりますので、簡単なご案内だけをさせていただきます。

2ページ目の実施可能な主体でございますが、①全国の自治体でございます。そして、②が組織委員会と放映権者が実施に合意する団体・組織となっておりますが、具体的な例示ということで、青い四角の中に記載の団体が実施をすることができると。いわゆる非営利団体が実施が可能ですよというところがございます。また、前提としてましては、1行目のところがございます、無料で実施するというところが、前提となっております。したがって、今回リレーションシップ協議会ご参加の皆様方の団体も、おおむね網羅されているかなというところがございますので、それぞれが、あくまでも各団体が主催する形で企画をしていただければと思っております。

詳細につきましては、ガイドライン、ホームページに掲載がございますので、ご確認い

ただければとは思ってございます。

続きまして、3ページ目でございます。今後の進行の日程というところでご案内ございますが、まず、組織委員会に対して、パブリックビューイングをやりますよという実施の申請をする必要がございます、こちらは、4月1日以降に順次申請が可能というところでございます。そういった中で、実施計画書等を提出していくというものでございます。申請をした団体に対して、詳細なルール、決まりを記載しているものですが、ルールブックが送付されるというものでございます。

また、四角の3つ目でございますが、放送番組予定が決定次第というところでございますが、番組放送が決定するのが、大会一、二か月前と言われてございますので、競技を放送する放映権者へ使用する番組の申請というのも、別途行っていただく必要が出てきます。パブリックビューイングの実施期間につきましては、7月24日、22と書いてございますのが、先行してサッカーとソフトボールを復興支援という形で行うためです。また、オリンピック終了後、パラリンピックが始まる前の移行期間は除くというところで、放送をしていただくというものでございます。実施後には、報告書を組織委員会に出すというものでございます。

今回、資料にはちょっと書いてはございませんが、口頭でございますが、各団体様が直接組織委員会に申請いただくという形でございますので、問合せ等もガイドライン等には記載がございますので、そちらにお問い合わせいただければなと思っております。また、一方で、例えばPR含めまして区と一緒にやっていきたいというご相談がありましたら、共催なのか後援なのかあるかと思いますが、ご相談いただければと思っておりますが、あくまでも実施主体としましては、各団体様が主体的に申請も含めておこなっていただくというものでございます。

また、実施の4週間前までに申請するというのが、原則なようでございますので、その辺もガイドライン等には記載があるかなと思っております。また、4週間前といいますと、ラグビーワールドカップのときもそうございましたが、日本選手の活躍によって、やは

り我々もみんなで応援したいという気運が高まってくると、4週間というか、もう1週間前ぐらいにならないと分からないよといった点もございますけれども、それ以降は個別にご相談くださいということでございましたので、その辺は組織委員会と個別に調整してくださいということでございます。

あくまでも、区主催じゃなくて、皆様方が自主的に行っていただくということでございますので、各団体様で行っていただくという中で、ご案内を広くしていただければなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、(2)でございますが、開閉会式アシスタントキャストの募集についてというものでございます。

こちら、ちょっと資料がないんですけれども、簡単に言いますと、開会式、閉会式で各国の選手団が入場してくるかと思っておりますけれども、そちらをエスコートないしそういった形で一緒に開会式、閉会式に出演していただくというものかなと思っております。年齢につきましては、こちら2002年4月1日以前に生まれた方ということで、お子様ではなくて、やはり18歳以上の方が対象となっております。詳細につきましては、こちらURL記載がございますので、そちらでご確認いただければなと思っておりますが、申込み期限が2月7日から2月28日、今月いっぱいということでございますので、募集数は、オリンピックが1,000名程度、パラリンピックが1,200名程度という内訳になってございますので、一つの参加の方法というところで、積極的にご案内いただきまして、応募いただければなと思っております。

ただ、聞く話によりますと、長時間にわたる従事というか参加になるというところがございますので、そういったところも募集要項等に記載がございますので、ご確認いただいた上で、積極的にご参加いただければなと思っております。

以上でございます。

続きまして、(3)スムーズビズのチラシというところで、こちら一般向け・企業向け・従業員向けということで、東京都が作成して、広く周知していくというものでござい

ます。

スムーズビズということで、どこかしらで聞いたことがあるかと思いますが、いわゆる交通混雑の緩和を皆様で協力を頂きたいというチラシでございますので、1枚目の資料6につきましては、交通混雑緩和を避けるために皆さんができることってこういうことなので、ご協力いただきたいという内容。また、資料7につきましては、スムーズな交通輸送にご協力をお願いしますというところでございますので、こちら、どちらかというところ、商店さん、商店街さんとか、企業さん向けなのかなと思ってございます。また、恐らく、例えばネットの注文を避けましょうとか、そういうのも入ってくるのかなと、いわゆる運送業の方々のトラック等も減らしましょうという取組も、その中に入ってくるのかなと思ってございますので、それぞれの団体、また、企業様、商店様におきましては、個別に東京都が団体向けの説明を行っているとも聞いてございますので、そちらと併せまして、各会員の皆様方に周知いただきまして、可能な限りご協力いただければなと思ってございますので、よろしく願いいたします。

情報提供につきましては、以上でございます。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

一括した情報提供でしたが、いかがですか。質問等ございますか。

【大竹委員】 コミスポ、大竹です。

最初のパブリックビューイングなんですけれども、先ほどの話とは違って、ガイドラインをよく読めば書いてあるんでしょうけれども、イメージとしては、例えばこういうような部屋を我々がお借りして、生中継のテレビの映像をスクリーンに映す、そこに皆さんに来ていただくという、そういうようなイメージでよろしいでしょうか。

【事務局】 2つ大きな条件というのが、条件というか、定義がございまして、1つは一定程度のテレビの大きさ以上のもので、みんなで見るというもの。また、サイズもそうなんですけれども、広く広報して、不特定多数の方々を集めることが、定義となっております。したがって、今お話しいただいたような内容が、該当してくるかなということ

でございます。

【大竹委員】 そうすると、各団体のほうで、大きなスクリーンや、小さいテレビじゃやりにくいでしょうから、ある一定程度の大きなものを映し出せるということは、やれる条件になってくるわけですね。

【事務局】 そうですね。ただ、多分テレビのサイズが、例えば少し小さくても、広く一般に、皆さんに、中継するのでみんなで応援しましょうみたいな企画になってくると、対象になってくる場合もあるかなと思ってございます。その辺、細かいところまで、すみません、我々もちょっと承知はしていないところでございますが、そういった形で、テレビのサイズとその人の、観客の集め方と、ここが一つの基準なのかなというところがございます。

【大竹委員】 ありがとうございます。

【齊藤座長】 そのほかございますか。

特にないようですから、次にまいります。次は、各団体・機関からの報告ということで、幾つか資料が提示されておりますが、まず最初、商工会議所さんのほう。お願いします。

【越野委員】 発表させていただきながら、ちょっと資料が一部足りなかったようでございますので、今お手元に配らせていただきます。お耳のほうだけ、こちらに向けていただけたらと思います。

東京2020オリンピック・パラリンピック（ハンガリー関連事業の取組状況について）という報告2-1の資料をまずご覧をいただければと思います。

まず、実施済みの事業といたしまして、駐日ハンガリー大使館、アリーナ次席への表敬訪問ということで、2019年11月8日に私と事務局長の小倉で伺ってまいりました。全体像を、こんなことをやらせていただきますということとか、アドバイスをいただいたりとかというようなことでもございました。

2番目といたしましては、ハンガリーフェア in 北区、北区のオリパラ課が主催された

事業への協力ということで、協力の内容につきましては、物販・飲食出店、それから、写真展の開催、開催そのものはオリパラ課が一生懸命やっていたんですけれども、そういったおつなぎをしたりとか、それから、事前PR、北マルシェ、飛鳥山薪能等東商関連の様々な事業者の方がおやりになるイベントについて、チラシをまかせていただいたりとか、そういうことをさせていただきました。2019年の11月30日でございます。

その結果として、どうなんでしょうか、今までよりはたくさんの方がお集まりいただいたという成果も出たように伺っております。

それから、3番目といたしまして、これは小さな話なんですけれども、少しずつ気運を盛り上げていこうということで、2019年12月6日に行いました年末の役員懇親会でございますが、これは毎年椿山荘で行っているものですが、中身を全部ハンガリーメニューにさせていただきましたまして、お土産のほうも、事務局いい知恵出したなと思ったんですが、のし紙はハンガリーの国旗になっていまして、その蓋を開けると、これ、もともと赤白緑のおまんじゅうがあるようなんですが、これが出てくるということで、ハンガリーの国旗色に染めて、これをお土産にお渡しするという。値段は今までの白一色と全く同じでございますので。そういう意味では、非常によく頑張ってくれたなというふうに思っております。

それから、1月22日に行われました東商の北支部新年賀詞交換会におきましても、ハンガリーメニューによる立食パーティー、それから、お土産に前年の10月でしたか、11月でしたかに発行されました、日本とハンガリーの友好150周年切手をお持ち帰りいただく。それから、オリンピック関連のパネル展示。それから、抽選会というのを毎年やっているんですけれども、ハンガリー旅行ができる旅行券ですとか、それから、ハンガリーのお酒、Tシャツ、それから、ヘレンドのティーカップとかというようなものを、ハンガリー絡みのものを抽選の品物にして、したがって、大変好評を頂きました。

そのほか、東商のほうからオリパラブースを設置していただいたり、オリパラのはっぴを着ての乾杯をしたりとかということが、気運醸成に努めたところでございます。

この間の関係団体等による事業の実施としましては、東京都北区中小企業診断協会が主

催をされまして、12月1日からハンガリーフェアということで、区内の飲食店幾つかに協力していただきまして、ハンガリーの料理を出していただく、もしくは、ハンガリーの素材を使った料理を出していただくというようなことをやっております。

それから、11月14日、2月11日には、前回たしかこちらでご紹介をさせていただいたかと思いますが、ハンガリーの民族音楽と申しますか、民族音楽とクラシック音楽の間のような形になりますが、ジプシーバイオリンのコンサート、これを地元のレストランで、そのレストランの主催という形ですけれども、行いました。また、同じく2月11日には、HOTEL ICHINICHIという赤羽にあります、これも特徴あるホテルなんですけれども、そちらの主催で、こちらには子供さんもたくさんオーケーだよということで、大変盛り上がったように聞いております。

いずれも、この3つにつきましては、広報、宣伝に東商の会員をはじめとした多くの方に知っていただくような、そういう活動をさせていただいております。

今後の実施する事業といたしましては、今、後から配りましたものがございますが、「ハンガリーへ 絵画の世界からの誘い」ということで、実は日本経済新聞の主催で、昨年からハンガリーのブダペスト美術展というのが、国立新美術館で行われております。これに、抱きつくようなイベントなんですけれども、明日、講演会をさせていただきます。第1部は、「ヨーロッパとハンガリーの美術400年～ブダペスト展の見どころ」ということで、駐日ハンガリー大使館から、ケレケシュ・アンドラーシュさんという方が来ていただきまして、お話を頂きます。

それから、第2部、これは「美味しい美術館～作品、美術館建築、館内レストランの全てを味わう～」ということで、飯田郷介さんという、北海道の中札内美術村、それから、六花の森美術館の館長で、なおかつ建築家という方、「美味しい美術館」という本も出されている方なんですけれども、この方の講演で、まさにブダペスト展でも、国立新美術館はポール・ボキューズのミュゼというレストランがありまして、そこで関連の、おいしいフルコースなんかがあるんですけれども、そういったもののご紹介を、少しブダペスト展

から広げて、いろいろとお話を頂くというようなことを予定しております。こちらのほう
は、参加費無料でございまして、当日ぜひ来ていただくということになっています。願
いします。

それから、2月26日には、この講演会を受ける形で、定員30名とちょっと少ないんです
けれども、朝10時から「ブダペスト・ヨーロッパとハンガリーの美術400年展」をまず見
学、鑑賞していただいた後、都内にございますハンガリー料理レストラン、A z F i n
o mというところ、ここは、シェフは元駐日ハンガリー大使公邸の料理人ということなん
ですけれども、こちらでお食事を取っていただくというような、小さなツアーを企画をい
たしております。

いずれも、ぜひ、今日リレーションシップ協議会ご出席の皆様には、明日、講演会のほ
うはその場で来ていただいても構いませんし、26日のほうは、また、お申込みをいただ
ければと、ぜひ先生も、今回ハンガリーには行けませんでしたけれども、もしお時間がござ
いましたら、お出かけをいただければというふうに思います。

それから、今後としましては、今、いろいろとオリパラからお話しございました幾つか
の点について、積極的にご協力を申し上げていこうと思っております。

コミュニティライブサイトにつきましては、暫時その打合せに入らせていただいている
ということでございます。

それから、4番目は、これはこの後、石山さんが言われるべきことなのかもしれませんが、
3月7日、8日に、「伯爵家令嬢マリツァ」というオペレッタが、実は北とぴあでござ
います。これ、ちょっと文化振興財団さんとは別のルートで我々関係あるものですから、
そんなことも皆さんにご案内をしていきたいというふうに思っております。

それから、ここには触れられていないんですけれども、実はフェイスブックページに、
ハンガリーの応援ページを東京商工会議所のメンバーの有志の方が作ってございまして、
ちょっと題名は忘れましたが、東京2020大会ハンガリーハジャ、ハジャというのは
頑張れという意味らしいですが、そういうページを作ってございまして、これはもう、

オリパラ課が発信をされていることをリンクさせていただいたりとか、それから、独自にこういうイベントのものを載せさせていただいたりとか、それから、ネタが尽きると、ハンガリーの何かおもしろそうなネタをどこからか見つけてきて載せたりとか、勝手に民間ですから、やっているというようなことで、これ結構皆さん見ていただけているようでございますので、ぜひフェイスブックおやりになられている方いらっしゃいましたら、シェアなどしていただければ拡散できると思いますし、そういったことの中で、さっきのハンガリー応援団で出てくるような情報も、広くお知らせしても差支えのない範囲で、もっとそちらにも載せていきたいと、こういうふうに思っているところでございます。

以上、ご報告させてもらいました。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

ハンガリーの国旗色のまんじゅうは、余りを食べたら、かなり濃厚でしたね。

そのほか、ご報告ございますか。

はい、お願いします。

【石山委員】 北区文化振興財団でございます。

ハンガリー関連事業のときに毎回北区民オーケストラのメンバーを呼んでいただいておりますけれども、オリンピック前の定期演奏会にハンガリーの楽曲を取り上げて、区民の皆様にお聞きいただければなとチラシを各自頂きました。右下に、区の主催イベントで、この区民オーケストラの公演の直前に、ロビーでコンサートもやる予定でございます。先ほど、越野会長からご紹介のあったジプシーバイオリンの紹介をこのときもさせていただければと思っております。5月17日、ぜひよろしく願いいたします。

【齊藤座長】 ありがとうございます。

そのほかございますか。

はい、お願いします。

【大竹委員】 コミスポの大竹ですけれども、3点あるんですが、1点目は、先ほどのご案内にもありましたが、11月30日のハンガリーフェア、私たちも書道をやらせていただき

まして、縦3メートルぐらい横2メートルぐらいの大きな紙に、大きな筆でいろんなものを書いていただきました。写真に写っています背の高い方と女性の方も、漢字を書いていただいて、ちょっと何を書いたか忘れてしまいましたけれども、とくという字か何かを書いていただいて、その日は、壁に2階の観覧席から下まで、全部通るようなそんな大きな紙だったんですけれども、それを貼らせてもらっていました。

あと、2つ目に、北区ニュースを見た方は御存じかもしれませんが、実は東京2020大会を100倍楽しむ方法、潜入、選手の練習施設へということで、2月16日、NTCさんのほうに、私たちが募集をかけて、30名募集して、見学に行っております。内覧会をさせていただきました。当初これが集まるのかどうかという、我々の中でも疑問があったんですけれども、やってみましたら、30名募集に対して170名を超える、180名ぐらい、約6倍ぐらいの方々の応募がありまして、抽選をして、先日日曜日に内覧のほうをさせていただいております。残念ながら、私、別なイベントで行けなかったんですが、後ほど二村さんが引率で行っていますので、とてもよかったと、参加者もとてもよく感動していたという話もありましたので、ちょっとコメント頂きたいというふうに思っております。

3つ目なんですけど、先ほど聖火リレーのお話もあったんですけれども、まだ、これは実現していないんですが、その聖火リレーについても、コースを歩こうという企画をしたためているところです。どういうふうにやるか、これからちょっと具体的に。やるとすれば、5月6日の日に、ちょっと私どもイベントを企画していますので、この日にやろうかなというふうに思っています。

ちょっと戻ってしまいますが、先ほどのあのNTCさんの見学については、今度3月15日に、好評でしたので2回目を企画して、明日の北区ニュースに出るんですけれども、今回は抽選ではなくて、朝7時から先着順というふうにしましたので、どういうふうになるかわかりませんが、区民の関心が非常に高いなと思っております。

今後、こういうことも含めて、また、いろんな形でご相談をさせてもらって、我々のできることを少しでも、一助となれるようにしていければなというふうに思っています。

では、二村さんのほうから、ちょっと当日の簡単なコメントをお願いします。

【二村委員】 スポーツ推進委員の二村です。コミスポたきのがわの幹事もやっているもので、今回引率で、1班、2班に分かれて2班のほうの引率で旅行させていただきました。中の2階、4階、6階と3つのフロアにわたって見学が可能でして、1時間半ぐらいかかりました。

ほぼほぼ中の練習している会場がガラス越しに見えるんですけども、そればかりでなくて、その限られたスペース、例えば廊下に国立競技場のトラックに引いてあるラバーですね、イタリア製の、それと全く同じものが引いてあって、そうすると、そこだけちょっと匂いが違うんですね。また、靴で歩いても、靴触りが違うといいますか、そういったいろんな五感に訴えるような工夫がなされていて、本当に通路とちょっと広いスペースとわずかなところなんですけれども、上手に使って、楽しませてくれると。

例えば、ウサイン・ボルト選手が走る速度が、光の速さでぴっといくと。あと、車椅子マラソンの選手のトップ選手が走っているスピードがこのぐらいですよと、これ、完全に目で、視覚で追えるというところで、あと、廊下の一部がフェンシングのピストになっていたり、ピストってこんな感じなんだとか。卓球のラバーが様々な種類があるんですけども、大きく分けて4種類ありますよ、どうぞ触ってくださいという形で、ラバーを触れるですとか、そういった工夫が色々されていました。

あと、ボッチャについては、狭いコートがあるんですけども、1球ずつ球を投げることができて、それだけでも、やはり、あ、ボッチャってこういうものなんだなということが、本当に体験できるという形で、参加者の方、本当に満足をされていました。女性一人で来た方ですとか、年配の男性一人の方、お子さん連れ、カップルの方、色々でしたけれども、本当に皆さん食い入るように見ていらっしゃいました。

途中、フェンシングのサーベルが、実際のものを持てるですとか、あと、地下にあるので見ることはできないんですけども、射撃場で使っているピストルの実物の模擬銃ですね、あと、ライフルの模擬銃、実際5キロぐらいあって、それを持って抱えることができ

るって、これはなかなかできないなっていうところで、十分500円払う価値があるなという感じで、どなたも文句言わず、時間をちょっと押し気味で帰ってきたという状況でした。

以上です。

【齊藤座長】 じゃ、よろしいですか。

【河村委員】 日本スポーツ振興センターの河村でございます。

今、お話のございましたハイパフォーマンススポーツセンター、たしか前回、ナショナルトレーニングセンター、新しい施設ですと、この間少しご案内したかと思っております。今、私よりも詳しいご案内を言っていただきましたけれども、まさしく、地域の方にご覧いただけるようにという専属の見学コースというのを設けて、一旦営業を始めたというのはご案内したところ。ただ、前回もちょっとお話ししたんですが、これから実はオリンピック開始の準備をしますので、一旦営業は3月をもってというお話を前回したところでございます。

それで、見学コース自体感動していただいたということ、大変うれしく、また、ちょっと3月にもご予定があるところを、今伺ったところなんですけど、すみません、ちょっとこの場でこういうお話をして申し訳ないんですけども、昨日、JOCさんのほうが、ハイパフォーマンススポーツセンターにおける例のコロナ対策の問題ですね、という中で、あの中に、やっぱり選手自体が準備をしている中で、今だんだんコロナのその発生状態が分からなくなってきた、いろんなところからそれが発生の可能性が高まってきた。

ついては、この中もある意味で同じかもしれませんが、そういう可能性があったときに、ああいう特殊な施設なので、あそこでそういう事案が発生してしまうと、多分国の施設として考えると、多分使用が禁止になるんじゃないかという、僕は懸念を持ってまして、そういうことにおいて、言葉の綾で大変申し訳ないんですけども、アスリートたちというのは、どこの所属か、誰って特定できる関係があります。ただ、一般の方たちというのは、特定ができない。あるいは、事故が起きた場合、ちょっとその辺のルートが追えないといういろんな問題があって、今、3月までいろいろと受け付けているところなんですけど、

現状、4月からは見学コースの営業を終了して、一般の方の立入りを禁止するというのは当初から予定をしていたんですけれども、ちょっと国の指導があつて、それをちょっと早められないかと。3月の上旬ぐらいから、そういうことはできないかと今検討を始めているので、先ほどのお話、ちょっとまた個別に担当のほうでご案内をするかもしれませんが、今の公募がされているということも承知しましたので、ちょっとそこまた、個別のご相談をさせていただくとして、こういう特殊な施設で、国立にあります、昨日もそういうニュースが流れているようなところがありますので。

皆さんの応援は、オリンピック自体も応援ですし、こういう施設があるということもご理解いただきながら応援をしていただけるとすれば、成功に向けて進めていきたいと、我々も思っているところなので、ちょっともともとが、原因が我々じゃない原因だし、また、原因の特定もできない、非常に難しい状況なんですけれども、ちょっとそういうのも抱えながら、私ども準備を進めさせていただいておりますし、北区の皆様とは一緒に、当然成功に向けてというところは前提なんですけど、手前で私どももそういうことに関わらないように、注意してまいりたいと思っておりますので、ひとつ状況報告になりますが、ちょっとそんな動きをしているというところをご紹介とさせていただきました。

ご見学いただきまして、どうもありがとうございます。失礼いたします。

【齊藤座長】 見学者の中から、感染者が出たりすると大変なことになりますし、また、実はアスリートの方から出たりすると、これはもう完全にオリンピックに影響しますので、難しいところなんですけれども。ありがとうございます。

そのほかございますか。

委員のほうは、

【越野委員】 ちょっと今のタイミングでどうなのかというのはありますが、思いとして申し上げたいんですが。

先ほどのハンガリー応援団のこともそうですし、文化振興財団のイベントもそうです、ご協力もそうなんですけれども、中身的には、もう完全にホストタウンと同じようなレベ

ルのところまでやっていると思うんですよね。東京都の場合には、不交付団体ということで、金銭的なメリットは何もないんですが、これを本当にレガシーとして残していく。さっきちょっと言葉が足りなかったんですけれども、実は「伯爵家令嬢マリツァ」というオペレッタというのは、これ、この題材そのものはハンガリーが舞台ですし、オペレッタそのものがハンガリー・オーストリア帝国の発祥ということで、たまたま、これ、オペレッタ協会さんが、ずっとこの北とぴあを本拠地にされているというご縁があって、ハンガリー大使なんかも何度も見に来られたりしているんですよね。そういうレガシーを残していくのに、ちょっと私、ホストタウンになって、どういういろんな事務的なものが出てきてしまったりとかあるのか、何とも言えないので、こういう平場で申し上げていいことかどうか分からないんですけれども。やっている内容は非常にレベルの高い、ほかのホストタウン、いろんなハンガリーとやっているホストタウンも、5つか6つ地方にありますけれども、どこよりも負けないことをちゃんとできているので、今回はオリンピックに間に合わせるとかということよりも、その次へレガシーをつなげていく今のいろんなことをやる小中学生につなげていくという意味でも、ちょっとご検討いただいたらいいのかなというふうに思ったんですが。

【齊藤座長】 事務局、お願いします。

【事務局】 まず、今ご指摘頂きましたホストタウンの話を少し補足させていただきます。

ホストタウンでございますが、こちら、内閣官房が主催で仕切っているところでございます。今、越野委員からもご案内いただいたとおり、我々も含めまして、オール北区でハンガリー応援をしている中では、他の自治体、ホストタウンとして登録されている自治体様と比較しても、負けないぐらいのものかなとは思っているところでございます。

一方で、北区全体で考えますと、これまでも国内の友好都市もそうですし、教育委員会のほうでアメリカの都市との交換留学、また、北京市とのいわゆる関係もございます。また、ホストタウンという名称が持つ、含むイメージ等もございますので、こちらにつきましては、そういった全体的な中で、庁内ではちょっと検討はさせていただければなと思っ

てございます。

いずれにしても、名称に捕らわれず、それと同等、またはそれ以上の取組を進めていきたいと、また、事務につきましては、やはりそれぞれ、ハンガリー競技団体のご意向もございますので、まずはしっかりと事前キャンプ、また、交流をしっかりと進める中で、今後どういうものが続けられていくのかというところは、先方の競技団体のご意向も尊重しながら、考えていければなと思ってございます。

以上でございます。

【齊藤座長】 では、全体通じまして、事務局からありますか。

【事務局】 最後、北区からの情報提供が適切かどうかというところでございますが、北区ゆかりのアスリートの方々のご活躍の情報というところ、ちょっとご紹介させていただければと思っております。

今回、オリンピックに内定した北区ゆかりのアスリート、区が把握している中ではあります。現在4名内定してございます。

既にご承知のことかと思えますけれども、改めてご案内させていただきますと、まず、卓球につきましては、JOCエリートアカデミー生、北区立稲付中学校卒業の張本智和選手と平野美宇選手が卓球の代表に内定しているところでございます。また、先日テコンドー代表選考会がございまして、北区のゆかりのアスリート、北区内企業というところで、城北信用金庫所属の山田美諭選手、それから、東京書籍所属の鈴木セルヒオ選手、この2名がテコンドーでの代表が内定したというところでございまして、北区としましては、今後続々と内定の選手が出てくるかと思えますけれども、積極的に応援していきたいと思っております。

また、高橋勇市選手、これからパラトライアスロン出場を目指しているというところでございますが、ご案内いたしましたハンガリー応援団ではないですけれども、特段もう高橋選手につきましては、高橋勇市選手応援団のような形で応援していきたいなと思ってございますので、ぜひ、いいご報告頂ければと思っております。

【高橋委員】 プレッシャーです。

【事務局】 期待してございますので、頑張ってください。

ありがとうございます。（拍手）

【齊藤座長】 それでは、ほかなければ、6番に今後のスケジュール書いてございますので、5月27日、来年度になりますが、7時からということで、場所同じく、この場所。

【事務局】 同じフロアですけれども、違うお部屋です。

【齊藤座長】 分かりました。ご確認いただければと思います。

ほかなければ、これで終了いたしますので、よろしいでしょうか。

では、お疲れさまでございました。